

共通鉛筆デッサン

前年度からの変更点

- これまで芸術、デザイン、マンガの各学部（学科、コース等）で実施してきた「鉛筆デッサン」を、今年度より「芸術学部・デザイン学部・マンガ学部共通鉛筆デッサン」として実施します。

● 共通鉛筆デッサン

出題意図： 鉛筆デッサン

鉛筆デッサンは造形感覚や視覚的なセンスをみがく上で基礎となる重要なトレーニングのひとつです。各モチーフの正確な形と大きさのバランス、材質感を表現するために、しっかりと観察しながら描くことが大切です。また、個別のモチーフ表現にとどまらず、それらの組み合わせによって生まれる空間感や世界観を意識し、一枚の絵として完成させてください。評価ポイントは「観察力」「描写力」「構成力」を合わせた「表現力」です。

2015年度 試験問題（想定問題）

時間： 4時間

問題： 与えられたモチーフを机上に配置し、鉛筆で描きなさい。

支給素材： ●画用紙（B3） 1枚

モチーフ：



- マグカップ 1個
- 薪 1本
- 布 1枚



- ワインボトル 1本
- 落花生（殻付き） 7個
- ラッピング紙（白） 1枚

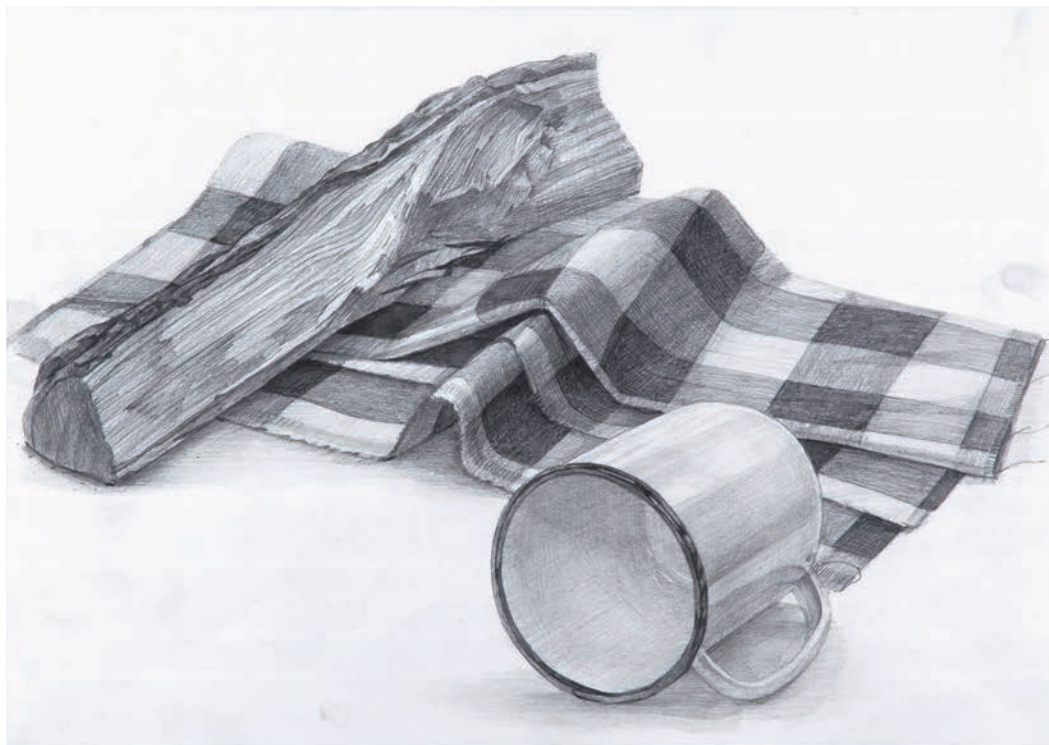


- トートバッグ 1個
- りんご 1個
- コーヒータンブラー 1個



- ボトル 1本
- 紙コップ 1個
- パン 1袋
- リボン 1本

制作条件： 与えられたモチーフは自由に配置してよいが、全て描写すること。
ただし④については、パンは袋から取り出して1個以上（最大で6個）をモチーフとすること。パンの袋は描かないこと。



共通鉛筆デッサン モチーフ①

作品評価

3つのモチーフそれぞれの特徴をとらえつつ、非常に実直に描かれていることに感心します。作者の筆触は力強く、迫力や強い存在感を感じさせます。一方、構成ではマグカップを倒して描くなど工夫も見られますが、マグカップと薪が平行になっていることや布の扱いがやや単調に見えるので、もう少し複雑な構成にチャレンジしてみるのもよいかもしれません。



共通鉛筆デッサン モチーフ②

作品評価

紙面全体を使って、3種類のモチーフを大胆に配置した構図で描いています。重量感のあるワインボトルが白いラッピング紙の上に寝かして置かれている画面からは、桌上的風景や物語が立ち現れています。落花生の置き方や紙の折れた質感の描き方など、全体的に絵心豊かな作品です。ボトルの文字も正確に描くことで立体感や丸みを出しています。



共通鉛筆デッサン モチーフ③

作品評価

光の調子や方向をよくとらえた作品です。どっしりとした重量感のあるりんごを手前に配置、柔らかな白いトートバッグを下に敷き、その上にスラッとタンブラーを直立させ縦構図をよく活かした構成になっています。また3つの要素を関連付けながら、やや逆光気味に光をとらえ、美しい調子で描かれています。とくに影の部分の微細な光のまわり方まで描けており、作者の観察眼の高さがうかがえます。



共通鉛筆デッサン モチーフ④

作品評価

異なる4つのモチーフが奥行きをとってほどよく配置され、リボンがそれらをうまく関連付けています。各々のかたちも正確です。鉛筆の使い方もよく心得ていて、調子のつけ方も適切で高クオリティのデッサンです。光や空気感も意識されていて優秀作品となりましたが、パンの柔らかな質感がいまひとつ描き切れていなかった点が残念です。